

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年02月22日

計画の名称	羽生市における循環のみちの防災・安全の実現第2期											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	羽生市											
計画の目標	下水道整備を行い、公共用水域の水質を保全するとともに、良好かつ快適な生活環境を推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,506	A	1,506	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	処理場及びポンプ場における耐震診断の実施50%(H30当初)から100%(H30末)に増加させる。 処理場及びポンプ場における耐震診断実施率 耐震診断実施済の箇所数/耐震診断を実施すべき箇所数(2箇所)	50%	100%	100%
2	処理場における長寿命化計画事業実施率を実施64%(H30当初)から100%(H30末)に増加させる。 処理場における長寿命化計画事業実施率 長寿命化計画事業実施済みの箇所数/長寿命化計画事業を実施すべき箇所数(28箇所)	64%	100%	100%
3	ポンプ場における長寿命化計画事業実施率を実施33%(H30当初)から100%(H30末)に増加させる。 ポンプ場における長寿命化計画事業実施率 長寿命化計画事業実施済みの箇所数/長寿命化計画事業を実施すべき箇所数(3箇所)	33%	100%	100%
4	ストックマネジメント計画を策定する。 ストックマネジメントの策定率 ストックマネジメント実施方針策定済の項目/ストックマネジメント実施方針策定の項目(11項目)	27%	100%	100%
5	液状化が想定される地域にある県管理の緊急輸送道路(車道)に設置されている公共下水道マンホールの地震対策(浮上防止)を行う。 マンホールの耐震対策実施率を0%から100%にする。 実施数/浮上防止対策が必要な基数	0%	50%	100%
6	ストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを6百万円/年縮減する。 ストックマネジメント計画による処理場及びポンプ場の実施設計策定率 策定本数/策定する実施設計本数(2本)	0%	50%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
	H30当初	R2末	R4末	
7	ストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを6百万円/年縮減する。 ストックマネジメント計画による処理場及びポンプ場の事業実施率 ストックマネジメント支援事業実施済のユニット数/ストックマネジメント支援事業をすべきユニット数（4ユニット）	0%	0%	100%
8	ストックマネジメントに基づく改築の実施によりライフサイクルコストを縮減する。 ストックマネジメント計画による管路施設の点検・調査実施率 点検・調査済延長（m）/点検・調査延長（6,500m）	0%	0%	100%
9	処理場の施設のうち、地震時にも処理場としての機能が確保できている割合（機能確保率）を11%（令和4年度）から16%（令和6年度）に上昇させる。 処理場の耐震診断 実施箇所/耐震診断を行う施設数（1箇所）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、「羽生市における循環のみちの防災・安全の実現」の指標のH29までと一体的に評価する。の指標は、次期計画と一体的に評価する。														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	改築	羽生市水質浄化センター及び羽生中継ポンプ場耐震診断事業	施設の耐震診断の設計及び工事	羽生市						50	-	
	長寿命化事業																		
	A07-002	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	改築	羽生市水質浄化センター長寿命化事業	設備の改築の設計及び工事	羽生市						600	策定済	
	長寿命化事業																		
	A07-003	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	ポンプ場	改築	羽生中継ポンプ場長寿命化事業	設備の改築の設計及び工事	羽生市						60	策定済	
	長寿命化事業																		
A07-004	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	-	改築	ストックマネジメント実施方針策定業務	計画策定、調査	羽生市						80	-		
A07-005	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	新設	緊急輸送道路(県管理)マンホール地震対策	マンホール診断・設計・工事	羽生市						4	-		
A07-006	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	改築	羽生市水質浄化センター及び羽生中継ポンプ場ストックマネジメント事業	主ポンプ設備・水処理設備・管理棟建築改修・污泥処理棟建築改修実施設計	羽生市						50	策定済		
ストックマネジメント事業																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	改築	羽生市水質浄化センター及び羽生中継ポンプ場ストックマネジメント事業	主ポンプ設備・水処理設備改築更新工事	羽生市						634		策定済	
		ストックマネジメント事業																		
	A07-008	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	管渠(汚水)	改築	管路施設点検・調査 ストックマネジメント事業	管路施設点検・調査	羽生市							16		策定済
		ストックマネジメント事業																		
	A07-009	下水道	一般	羽生市	直接	羽生市	終末処理場	改築	羽生市水質浄化センターの耐震診断	汚泥処理棟 耐震診断	羽生市							12		-
											小計						1,506			
											合計						1,506			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
羽生市下水道事業審議会条例第2条に基づき開催した審議会において事後評価を実施。	令和6年2月6日
	公表の方法
	羽生市ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場及びポンプ場の耐震診断を行い、耐震工事を行うことで施設の安全性が確保できた。（指標 ） ・処理場及びポンプ場の長寿命化計画事業を行うことで施設の安全性が確保できた。（指標 、 ） ・ストックマネジメント計画を策定することで計画的な施設の改築更新工事が可能となった。（指標 ） ・マンホールの浮上防止対策を行うことで緊急輸送道路の安全性を確保できた。（指標 ） ・ストックマネジメント計画に基づき改築更新工事を行うことで施設の安全性が確保できた。（指標 、 ） ・管路施設の点検・調査を行うことで事故等を未然に防ぐことができた。（指標 ）
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>指標（ 、 、 ）についての事業は完了しております。 指標 については、ストックマネジメント計画に基づき施設の改築更新工事を進める。 指標（ 、 ）については、次期計画で引き続き事業を進める。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	処理場及びポンプ場における耐震診断実施率	
	最終目標値	100%
2	処理場における長寿命化計画事業実施率	
	最終実績値	100%
3	ポンプ場における長寿命化計画事業実施率	
	最終目標値	100%
4	ストックマネジメント計画の策定率	
	最終実績値	100%
5	マンホールの耐震対策実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	50%

緊急輸送道路のマンホールの耐震診断の結果、地震対策（浮上防止）を行う必要があるマンホールは2箇所であった。資金が不足となり事業進捗に向けて資金繰りに最大限努力したが、工事が着手できたのは1箇所 / 2箇所であった。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	ストックマネジメント計画による処理場及びポンプ場の実施設計策定率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
7	ストックマネジメント計画による処理場及びポンプ場の事業実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
8	ストックマネジメント計画による管路施設の点検・調査実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	50%
9	処理場の耐震診断率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%